

山本 和恵

東北文化学園大学科学技術学部住環境デザイン学科 助教授

複合福祉施設整備計画を事例とした「建てる」選択と「建てない」選択の比較研究

人口減少と人口構造変化を支える方策と、中心市街地の空洞化の問題を同時に扱うことで、解決策の一步を提示する「まちなか居住」の事業案を提案する。福祉施設を地域内の居住施設として考えるべきこと、他の機能と複合すべきことを主張し、中心市街地に複合施設の事業案を提示して住民の議論に賦す「実践的研究」である。合わせて空き店舗利用についても取り組んでいる。

意義ある施設づくりを実現するには地域住民が主体となって、住民発意の事業提案が必要である。これを支援するために、具体的な事業案を住民とのワークショップを踏まえて制作する。その中で住民の事業案への評価がどのようにおこなわれるのかについて報告する。また「建てる提案」としての事業案と、「建てない提案」として空き店舗利用計画の2つの計画を提示して、それぞれワークショップを開催し、その違いについてもドキュメントする。さらに、ワークショップ手法に関して、用意する資料などを含む進めかたや、主催者に必要とされる力などについて分析する。